

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	5
事業名	認知症総合支援事業（介護特会）	会計特会	款	項	目
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために		3	3	7
施 策	3-3 高齢者福祉の推進	課名	健康長寿課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	認知症の人とその家族を支えるため、地域の医療機関をはじめ、地域の関係機関と連携した体制を構築することにより、住民誰もが認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。
事業内容	・認知症初期集中支援・・・地域包括支援センターに設置した「認知症初期集中支援チーム」により、認知症（疑いを含む）の人や家族への早期対応・早期支援を実施する。 ・認知症カフェ・・・認知症の人の家族に対する支援の推進としてカフェを開催する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	認知症サポーター養成講座受講者数	6,071	6,330	6,531	人	↑	6,200
	2	見守り協定企業数	5	5	5	事業所	↑	10
	3	地域見守りネットワーク協力事業所数	135	135	135	事業所	↑	140
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			1,965		2,200		2,303	
財源内訳	うち一般財源		452		506		530	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・認知症への普及啓発 ・「チームオレンジとういん」の増員と活動の拡大支援	③取組の課題	・認知症への正しい理解の不足 ・認知症家族の介護負担の増加
②R6年度に実施した取り組み	・「チームオレンジとういん」の活動支援をし、世界アルツハイマーデーには啓発グッズを作成、図書館に展示するなど普及啓発を実施した。また、同時に映画上映会を開催し、「チームオレンジとういん」の活動報告なども行った。	④今後の改善計画	・認知症への正しい理解のための普及啓発 ・認知症家族の負担軽減のためのサポート事業の実施